

■令和元年度第5回（第298回）都市経営戦略会議結果概要

【日 時】 令和元年8月27日（火）午後3時05分～午後3時30分

【場 所】 政策会議室

【出席者】 市長、日野副市長、高橋副市長、阪口副市長、水道事業管理者、教育長、都市戦略本部長、総務局長、財政局長、総合政策監、都市局長

【議 題】 中央区役所周辺の公共施設再編と空間のリニューアルに向けた検討の方向性について

< 提 案 説 明 >

中央区役所周辺の公共施設再編と空間のリニューアルに向けた検討の方向性について、財政局長及び都市局長から次のような説明があった。

- ・ 与野本町駅周辺地区のプロジェクト「中央区役所周辺の公共施設再編と空間のリニューアル」の推進に当たって、ゾーニング案・再編対象公共施設案をもとに民間活力導入可能性調査を実施し、検討を進めてよろしいか、審議をいただくものである。
- ・ 中央区役所周辺は多くの公共施設が老朽化しており、近い将来、建替えの時期を迎えていく状況である。そのため、効率的な公共施設の更新や、資産の有効活用、空間のリニューアル等を図っていく必要がある。
- ・ 公共施設再編と空間のリニューアルにより、利便性や快適性の向上、交流の場の創出、防災性の向上、地域のまちづくり活動の活性化、財政負担の軽減等が図られる。
- ・ 中央区役所周辺の公共施設の再配置に当たっては、まちづくりの視点（与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン）、財政的な視点、公共施設建替え（公共施設マネジメント計画）の視点から、事業敷地案を設定した。（資料11ページ）
- ・ また、事業敷地内の整備の大まかな方向性を示したゾーニング案を作成した。与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープランの取組、協議会と市民によるワークショップの結果等を整理し、ゾーンはハートフルゾーン、コミュニティ「ぷらっと」家（ホーム）ゾーン、生き生きくらしゾーン、文化・バイタリティゾーンの4つのゾーンを配置する。（資料13ページ）
- ・ 中央区役所周辺の再編対象施設については、公共サービス機能、文化・交流機能を再編対象とし、中央区役所からの距離や利用者の利便性、ワークショップの意見を踏まえ、8施設を対象とする。
- ・ 公共施設再編方針の策定に向けては、民間事業者の参入の意向、導入可能性のある施設機能、参入に際しての諸条件や課題、建物の規模及び配置案、事業範囲及び事業手法等を把握するため、本年10月～11月に民間活力の導入可能性調査を行う。
- ・ 調査を踏まえ、令和2年3月に中央区役所周辺の公共施設再編方針の素案を策定し、

令和2年9月に方針を策定する予定である。

< 意見等 >

- ・ 事業が進捗する中で、空いたエリアを民間に売却する可能性はあるのか。
- 空いたエリアを必ずしも市で活用する必要はないと考えている。民間からの多様な発想を期待する。
- ・ サウンディング調査の対象はどのようなところを考えているのか。
- 大手建設業者から民間の店舗まで、対象を絞らず広く意見を聞いていきたい。

< 結果 >

中央区役所周辺の公共施設再編と空間のリニューアルに向けた検討の方向性については、原案のとおり了承とする。

< 会議資料 >

中央区役所周辺の公共施設再編と空間のリニューアルに向けた検討の方向性について